


【ウォーリスの公式】

※ ウォーリスの公式を用いて、円周率 π の近似値を求めます。

【ウォーリスの公式】
(π の近似値を求める)



分子・分母の項数 = 1080 個ずつ
円周率 π

$$= 2 \frac{2 \cdot 2 \cdot 4 \cdot 4 \cdot 6 \cdot 6 \cdot 8 \cdot 8 \cdots}{1 \cdot 3 \cdot 3 \cdot 5 \cdot 5 \cdot 7 \cdot 7 \cdot 9 \cdots}$$

$= 3.1401398942142493$

- ※ 画面をタッチすると自動になります。
- ※ 画面をタッチすると自動が止まります。
- ※ 更に画面をタッチすると初期化されます。
- ※ 画面が暗くなったらタイトルバーをタッチ！

Copyright(C) K.Niwa 2019.11.12

【スクリーンショット】

Galaxy S9



【エミュレータ画像】

Android Studio Version 3.5.1

[概要]

次のウォーリスの公式を用いて、円周率 π の近似値を求めます。

$$\pi = 2 \times \frac{2 \times 2 \times 4 \times 4 \times 6 \times 6 \times 8 \times 8 \times \cdots}{1 \times 3 \times 3 \times 5 \times 5 \times 7 \times 7 \times 9 \times \cdots}$$

分子と分母の数字の個数をどんどん多くしていったとき、円周率 π の近似値が求まる様子を観察してみましょう。